

## 〈 セミナーのご案内 〉

● 配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回  
覧

--	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 298 (通算 628 回)

2015 年 8 月 3 日 (月)

組織力のパワーアップ——

# 科研費の申請・獲得策とその実際 V

高等教育活性化シリーズ 300 (通算 630 回)

2015 年 8 月 7 日 (金)

教育・研修の義務化への実践対応——

# 研究倫理教育の責務とプログラム展開 IV

組織力のパワーアップ——

# 科研費の申請・獲得策とその実際 V

～科研費改革への対応／特定分野への注力／支援の最前線～

- ※ 科研費改革の最新動向／H27 年度新事業と展開／競争的研究費改革検討会「中間まとめ」
- ※ [大妻女子大] 文科系の申請課題／学競争的資金による風土づくり／論文投稿への展開
- ※ [立命館大] リエゾン(産学官連携)／外部資金導入の実績／テクノプロデューサー
- ※ [電通大] 多彩な研究支援／教員・研究者交流への取組み／研究者環境・支援制度の拡充～URA

● 講 師 ●

前澤 綾子 氏 / 文部科学省 研究振興局 学術研究助成課 企画室長  
大澤 清二 氏 / 大妻女子大学 副学長  
三ツ野直樹 氏 / (学) 立命館大学 研究部 次長  
由良 憲二 氏 / (国) 電気通信大学 副学長 (研究担当) 研究推進センター長

2015 年 8 月 3 日 (月) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

教育・研修の義務化への実践対応——

# 研究倫理教育の責務とプログラム展開 IV

～科学者の誠実性／組織マネジメント／教育・研修の実際～

- ※ [東京大] 研究倫理アクションプランの作成と体制整備／精神風土の革新／具体的な取組み
- ※ [筑波大] 研究倫理教育への先進的取組み／7年目の大学院共通科目／教員・研究者への展開
- ※ 大学・研究機関の RCR 教育の現況と課題／倫理教育の必要性／行動規範の自律的実現へ
- ※ [近畿大] CITIJapan プロジェクト導入と全教員受講義務付け／運用の実際／院生への拡大

● 講 師 陣 ●

小野 幸嗣 氏 / (国) 東京大学 研究推進部長  
三明 康郎 氏 / (国) 筑波大学 理事・副学長 (研究担当)  
札野 順 氏 / 金沢工業大学 教授 科学技術応用倫理研究所 所長  
青木 貴史 氏 / 近畿大学 副学長補佐

2015 年 8 月 7 日 (金) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



[ 参加要領 ]

日時： ■高等教育活性化シリーズ 298 科研費の申請・獲得策とその実際 V

2015年8月3日(月) 10:00~16:50

■高等教育活性化シリーズ 300 研究倫理教育の責務とプログラム展開IV

2015年8月7日(金) 10:00~16:50

会場：剛堂会館(明治薬科大学)会議室(東京・麹町)

千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362

(東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、またはJR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)

参加費	ご一名(資料代を含む) 下段は高等教育同人(☆)	メディア参加 同(資料及び音声CD送付)
高等教育活性化シリーズ 298 科研費の申請・獲得策とその実際 V	40,000円(税込) 同人 20,000円(税込)	41,000円(税、送料込) 同人 21,000円(税、送料込)
高等教育活性化シリーズ 300 研究倫理教育の責務とプログラム展開IV	41,000円(税込) 同人 21,000円(税込)	42,000円(税、送料込) 同人 22,000円(税、送料込)

※メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声CDを送付します。

※なお、当日参加とともに、音声CDをご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 \*郵便振替：00110-8-81660

口座名 (株)地域科学研究会

(ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: [kkj@chiikikagaku-k.co.jp](mailto:kkj@chiikikagaku-k.co.jp)

☆高等教育計画経営研究所同人はKKJのHPでご確認願います。

☆ご案内をパンフからメールにシフトしております。ご登録くださいませ。

お申込み・お問合せ



地域科学研究会  
高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106

TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2015年 月 日

(□に✓印を入れてください)

高等教育活性化シリーズ 298

科研費の申請・獲得策とその実際 V

一般  同人

当日参加  メディア参加

高等教育活性化シリーズ 300

研究倫理教育の責務とプログラム展開IV

当日参加  メディア参加

支払方法  当日払い  銀行振込  郵便振替

必要書類  請求書  見積書

勤務先

〒

連絡部課・担当者名

所在地

メールアドレス

TEL

FAX

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。



時間	講義項目
10:00 ～ 11:30	<p>□ [東京大] 研究倫理アクションプランの作成とその展開 ～高い研究倫理を東京大学の精神風土に～</p> <p style="text-align: right;">東京大学 小野 幸嗣</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究倫理アクションプランの作成に至る経緯と具体的事例</li> <li>2. 研究倫理アクションプランについて</li> <li>3. 研究倫理アクションプランの展開 <span style="float: right;">〈質疑応答〉</span></li> </ol>
11:40 ～ 13:00	<p>□ [筑波大] 筑波大学における研究公正への取組の現状 ～研究倫理教育とインフラ～</p> <p style="text-align: right;">筑波大学 三明 康郎</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究公正規則</li> <li>2. 研究倫理教育</li> <li>3. 研究公正にかかる取組 <span style="float: right;">〈質疑応答〉</span></li> </ol>
14:00 ～ 15:20	<p>□ 大学・研究機関におけるRCR教育の現状と課題 ～倫理教育の必要性／科学者の行動規範の自律的実現を目指して～</p> <p style="text-align: right;">金沢工業大学 札野 順</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. RCR教育の現状       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 米国におけるRCR教育</li> <li>(2) 我が国におけるRCR教育</li> <li>(3) RCR教育の課題</li> </ol> </li> <li>2. RCR教育の目的と方法       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) RCR教育の目的</li> <li>(2) RCR教育の方法</li> <li>(3) RCR教育の具体例</li> </ol> </li> <li>3. 社会と個人の「Well-being」のために －研究倫理プログラムの必要性－       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) なぜ「科学者の行動規範の自律的実現を目指して」なのか</li> <li>(2) 単なる研究不正防止を越えて</li> </ol> <p style="text-align: right;">※RCR: Responsible Conduct of Research 「責任ある研究活動」 <span style="float: right;">〈質疑応答〉</span></p> </li> </ol>
15:30 ～ 16:50	<p>□ [近畿大] 研究倫理教育の取組みと実際 ～CITI Japan プロジェクトの導入／全教員への受講義務付け～</p> <p style="text-align: right;">近畿大学 青木 貴史</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 近畿大学におけるCITI Japan プロジェクトの導入       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 導入の経緯</li> <li>(2) 運用方法</li> <li>(3) 全教員受講義務付けの経緯</li> <li>(4) 受講実績</li> </ol> </li> <li>2. 今後の方針       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 受講科目の拡大とインセンティブ</li> <li>(2) 大学院生に対する研究倫理教育 <span style="float: right;">〈質疑応答〉</span></li> </ol> </li> </ol>